

一等米比率を高めよう!

土づくり基準

★米づくりの基本は土づくりから。
圃場の状態に合わせた土づくりで地力増進をはかりましょう。稲作の基本は土づくりです。秋のうちから土づくり

をしっかりと行うことで、田植以降の肥培管理がしやすくなります。

【秋すきの励行】

稲わらはできるだけ早くすき込み、必ず排水溝を設置しましょう。

【有機物と土づくり資材】

○稲作に必要な堆肥は10a当たり約2,000kg

➡ アヅミンを10a当たり40kg施用することでほぼ同等の効果!

○刈り取り後の生ワラを有機質として補う場合

➡ 石灰窒素を10a当たり20kg施用し、すき込んで下さい。
(分解・腐熟が早まり、肥料効果が高い) (夢たんばには石灰窒素の使用はできません)

※土づくり資材は下の表を参考に、圃場の状態にあった資材を施用してください。

大事な点はケイ酸成分の補給です。中干し前にけい酸加里を施用するため秋には必要ないと考えがちですが、ケイ酸成分を多く含む圃場からはおいしいお米が取れることがデータにより立証されています。

●軟弱体質 …倒伏田、いもち病発生田、酸性土壌

●秋落体質 …下葉の枯れ上り、根ぐされ、ごまはがれ病発生田、浅耕土、漏水田、砂質田

軟弱体質	秋落体質
地力アップ 200kg 又は 土力の達人 80kg	土力の達人 80kg
堆肥 2,000kg 又は アヅミン 40kg 石灰窒素 20kg	

○収穫後の圃場管理

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
作業内容	土づくり資材の投入・秋すき・排水		排水管理・春すき			土づくり		田植
省カタイプ	堆肥	堆肥 (2,000kg)		※堆肥の数が少ない場合、アヅミンで代替ができます アヅミン (40kg)				
	稲わら腐熟	石灰窒素 (20kg)						
	土づくり資材 けい酸補給	地力アップ (200kg) 又は 土力の達人 (80kg)						
単肥主体タイプ	堆肥	堆肥 (2,000kg)		※堆肥の数が少ない場合、アヅミンで代替ができます アヅミン (40kg)				
	稲わら腐熟	石灰窒素 (20kg)						
	土づくり資材 けい酸補給	ようりん (40kg) ケイカル (200kg)						

肥料・農業を施用された場合は、必ず栽培履歴に記帳しましょう。

●省カタイプ混合粒状品の場合			
肥料名	施肥量 (10aあたり)	特長	成分 (%)
石灰窒素	20kg (1袋)	稲わら分解を早めるため年内に散布してすき込みましょう。 (夢たんばには使用できません)	窒素 20 アルカリ分 55 シアナミド石灰 55
			腐植酸 約50 く溶性苦土 10 うち水溶性苦土 3
アヅミン	40kg (2袋)	根の活力を高めて、リン酸、苦土、ケイ酸の吸収を促し、稈を良くします。堆肥施用田に併用すると、より効果があります。	く溶性リン酸 3 可溶性ケイ酸 25 アルカリ分 45 く溶性苦土 3
地力アップ 又は 土力の達人	200kg (10袋)	ケイカル80%、ようりん20%の混合粒状品。いもち病の発生しやすい田、倒伏田、粘質田に最適。	く溶性リン酸 3 可溶性ケイ酸 25 アルカリ分 45 く溶性苦土 3
	80kg (4袋)	有機JAS認定の有機農産物に使用できます。観葉用でも使用できます。10a当り4袋と省力となっております。	く溶性リン酸 6 可溶性ケイ酸 32 アルカリ分 45 く溶性苦土 12

●単肥主体タイプの場合			
肥料名	施肥量 (10aあたり)	特長	成分 (%)
石灰窒素	20kg (1袋)	稲わら分解を早めるため年内に散布してすき込みましょう。刈取後ようりん40kgと一緒に施用してください。 (夢たんばには使用できません)	窒素 20 アルカリ分 55 シアナミド石灰 55
ようりん	40kg (2袋)	活葉、分けつが不良な水田に散布すると、根の発達を促し登熟を良くします。刈取後石灰窒素20kgと一緒に施用してください。	リン酸 20 苦土 12 ケイ酸 20 アルカリ分 45
アヅミン	40kg (2袋)	根の活力を高めて、リン酸、苦土、ケイ酸の吸収を促し、稈を良くします。堆肥と併用すると、より効果があります。	腐植酸 約50 く溶性苦土 10 うち水溶性苦土 3
ケイカル	200kg (10袋)	ケイ酸が葉や稈を丈夫にし、倒伏しにくい稲をつくりやすい。いもち病の発生しやすい田、倒伏田、粘質田に最適。	可溶性ケイ酸 27 アルカリ分 45 く溶性苦土 3

※JAで実施する機械散布を利用すれば、省力化されお得になります。